

科学センター集録

＝第 67 集＝

令和 6 年度版



岩国市科学センター

目 次

○歴代館長名簿

目次-----	1
科学センターの歴史-----	2
科学センター経営概要-----	3
令和6年度実施事業-----	5
令和6年度主要事業の実施状況-----	7
令和6年度展覧会等の出展・受賞状況-----	14

科学センターの歴史

1 科学センター開館まで

昭和 26 年の岩国市理科教育連盟の創設により、研究授業、実技講習会、巡回移動講習会や科学移動教室を開催し、昭和 27 年には第 1 回の科学作品展、科学研究発表会、模型飛行機グライダー競技会を始める。昭和 27 年 11 月に教育委員会が発足。昭和 28 年 1 月に岩国市理科教育研究会が結成されて、巡回科学移動教室が一段と活発化し、県科学展、科学研究発表会や広島大学科学研究発表会等で優秀な入賞者を輩出した。

このような中で、活動の拠点としての研究施設開設の期待が高まり、昭和 29 年 11 月に麻里布小学校で開催された科学振興展覧会を契機に、科学センターの仮設場所として同小学校離れ校舎の教室が当てられた。

2 科学センター開館（本庁 7 階） 昭和 35 年～昭和 44 年

岩国市科学センターは、広兼教育長（当時）などの努力により、昭和 34 年の新庁舎完成にあわせて、昭和 35 年 1 月、庁舎 7 階に設置される。

初代館長に河本新太郎指導主事が学校教育課長補佐から就任し、昭和 36 年 2 月から雑賀英男を指導員として委嘱する。

昭和 37 年度から、従来の移動科学教室の発展として、クラブ組織と指導員制度を確立させ、市内小学校 5 年から中学校 3 年までの児童・生徒に参加希望を募って、年間を通しての計画的な指導を始める。（鉱物、植物、昆虫、電気、化学、検鏡、魚貝、科学工作、物性、天体、気象、アマ無線、写真、計算尺）

昭和 40 年度には、冬季休業中における自由課題として第 1 回岩国市小中学校発明工夫・科学工作展を実施する。

3 横山二丁目（現吉香公園内）に移転 昭和 44 年～昭和 48 年

市庁舎が手狭になったため、昭和 44 年 1 月 20 日に旧岩国高校講堂跡（横山二丁目）に引越し、昭和 44 年 4 月に開館する。

昭和 48 年 6 月 30 日に、指導員を非常勤職員として身分保障した条例及び規則が制定される。この年から、スズムシの無料配布が始まる。

4 今津六丁目（旧消防本部所在地）に移転 昭和 48 年～昭和 53 年

吉香公園整備のため、昭和 48 年 8 月 26 日に旧水道局庁舎跡（今津六丁目）に移転する。ホタルの人工養殖場をつくる。（昭和 50 年度）

5 山手町一丁目（旧料理学校跡）に移転 昭和 53 年～平成 20 年

市民会館の新築により、消防本部が今津六丁目の科学センター所在地に移転することになったため、昭和 53 年 1 月に、市役所山手庁舎（山手一丁目）内に移転する。

平成 18 年 3 月 20 日、8 市町村が対等合併し、新岩国市が誕生する。

6 麻里布六丁目（旧税務署跡）に移転 平成 21 年～

山手庁舎老朽化のため、平成 21 年 1 月に市役所麻里布庁舎（旧税務署跡）内に移転する。

科学センター経営概要

子どもたちの理科離れが叫ばれる中、自然との対話の不足が気になるところです。また、ハサミ、カッターナイフ、ものさし、ひもなどの道具を利用した遊びが少なくなっていることから、道具が使えない子どもたちも増えています。

かつて、ノーベル物理学賞受賞者の朝永振一郎氏は、

「ふしぎだと思うこと　これが科学の芽です。」

よく観察してたしかめ　そして考えること　これが科学の茎です。」

そして最後になぞがとける　これが科学の花です。」

と語っています。「科学の花」を咲かせるために、科学センターは、「自然」と「道具」をキーワードに、「か」「が」「く」を重点施策にします。

経営の基本方針

「か」　科学への興味を育む環境づくり

「が」　学校では取り組みにくい体験活動の充実

「く」　暮らしの中の科学や道具についての学びの推進

施策項目

「か」　科学への興味を育む環境づくり

- (1) 市民・教員・児童生徒を対象とした科学講座の開催
- (2) 優れた児童生徒の科学作品の展示及び表彰
- (3) 岩石・鉱物、昆虫など岩国市にちなんだ標本展示や天体観察の充実

「が」　学校では取り組みにくい体験活動の充実

- (1) 基本的な道具の使い方を学べる科学教室の開催
- (2) よく聞き、考え、みんなと創造する科学教室の開催

「く」　暮らしの中の科学や道具についての学びの推進

- (1) 道具を使った科学的な遊びなど科学教材の開発や紹介
- (2) 暮らしの中に科学を見つける活動の充実
- (3) 科学教育研究のための資料の整備及び相談
- (4) 自然科学団体や民間企業などとの連携

予算について（令和6年度当初予算）

科学センター費	58,955 千円
（内訳）人件費	49,819 千円
運営費	574 千円
科学の祭典開催事業費	577 千円
各種教室開催事業費	4,180 千円
科学センター展示整備事業費	364 千円
ミクロ生物館管理費	3,441 千円

開館日数及び入館者数（令和6年度 科学センターのみ）

開館日数	287 日
入館者数	3,690 人

センターの施設

〔建物〕

岩国市役所麻里布分室の1階と2階の一部を使用

主要な部分の面積 約 523 m²

1階 約 283 m² (展示コーナー、図書コーナー、資料室、倉庫、事務室等)

2階 約 240 m² (講座室、会議室、準備室、倉庫等)

他に 屋外倉庫 20 m²、別棟工作室 32 m²

岩国市ミクロ生物館

主要な部分の面積 約 188 m²

専有部延床面積 約 112 m² (展示室、実験室、操作室、準備室等)

共有部延床面積 約 76 m² (体験学習室、情報交流室)

〔設備・展示品〕

天体望遠鏡 (200mm 反射望遠鏡) ミード L X 200-20

平成 12 年 7 月 4 日 寄贈 410 千円

(200mm 反射望遠鏡) Vixen VC200L

平成 30 年 9 月 購入 (ふるさと基金)

(150 mm の反射式望遠鏡) Vixen スーパーポラリス R - 150 S

令和 2 年 3 月 21 日 寄贈

岩石鉱物標本 約 1,000 点 (他に未登録約 500 点)

昆虫標本 約 40 ケース

貝標本 約 200 点

植物標本 約 10 箱

〔主な寄贈品〕

ウェッデルアザラシ剥製	1	昭和 62 年 9 月 3 日
アデリーペンギン剥製	1	昭和 62 年 9 月 3 日
琥珀 (1 億年前)	1	平成 5 年 1 月 19 日
カラーテレビ及びビデオデッキ	1	平成 7 年 3 月 10 日
液晶プロジェクター	1	平成 10 年 5 月 6 日
ナウマン象の上腕骨	1	平成 16 年 4 月 14 日
黄鉄鉱・硫黄・水晶ほか		平成 19 年 6 月 8 日
ワイヤレスマイク一式		平成 20 年 11 月 18 日
実験用机、陳列ケースほか		平成 20 年 11 月 18 日
喜和田タングステン標本ほか		平成 20 年 12 月 2 日
岩国周辺の岩石 32 個		平成 21 年 11 月 28 日
全国の鉱石 (旧美川町寄贈受) 1,000 点 (登録数約 460 点)		平成 22 年 9 月 3 日 移管
化石 (三葉虫・魚・化石木)		平成 22 年 11 月 25 日
「岩国市の自然」(複写版) 100 冊		平成 27 年 3 月 31 日
アマミサソリモドキの標本		平成 28 年 11 月 13 日
ワニ・アルマジロの剥製		平成 29 年 6 月 1 日
150mm の反射式望遠鏡		令和 2 年 3 月 21 日
ウミガメ剥製 2 体		令和 3 年 6 月 15 日
光る石資料館所蔵資料 一式		令和 6 年 4 月 22 日

令和6年度 実施事業

「か」科学への興味を育む環境づくり

- (1) 市民・教員・児童生徒を対象とした科学講座の開催
 - ① 児童生徒を対象とした科学教室の開催
- (2) 優れた児童生徒の科学作品の展示及び表彰
 - ① 科学振興展覧会の開催
 - ② 発明工夫・科学工作展の開催
 - ③ 優れた作品や研究に対する表彰の実施
- (3) 岩石・鉱物、昆虫など岩国市にちなんだ標本展示や天体観察の充実
 - ① 動植物の飼育・栽培の奨励
 - ② 植物・昆虫・岩石・鉱物の同定（植物・昆虫・岩石・鉱物の採取・標本類の名前を調べること）会の開催

「が」学校では取り組みにくい体験活動の充実

- (1) 基本的な道具の使い方を学べる科学教室の開催
 - ① 道具を使った科学教室の実施
- (2) よく聞き、考え、みんなと創造する科学教室の開催
 - ① 創造する科学教室の実施
 - ② 科学クラブの効果的な運営

「く」暮らしの中の科学や道具についての学びの推進

- (1) 道具を使った科学的な遊びなど科学教材の開発や紹介
 - ① 教材・教具等の貸出
 - ② 科学教材・工作の展示
- (2) 暮らしの中に科学を見つける活動の充実
 - ① 青少年のための科学イベントの開催
 - ② 科学講演会の開催
 - ③ スズムシの無料配布
- (3) 科学教育研究のための資料の整備及び相談
 - ① 夏休み自由研究相談会
 - ② 同定会の開催
 - ③ 科学センター月報の発行

(4) 自然科学団体や民間企業などとの連携

- ① 他館・企業・学校と連携した科学教室
 - 山口合同ガス株式会社
 - やまぐちドローン操友会
 - 三井化学株式会社岩国大竹工場 ふしぎ探検隊
 - 中国電力株式会社
 - 神戸市立工業高等専門学校
 - 九州職業能力開発大学校
 - 株式会社ゼロディブ
 - 山口県立岩国工業高等学校
 - 関西モバイルプラネタリウム
 - 山口県立山口博物館
 - 蔵前工業会広島支部
- ② 「青少年のための科学の祭典 2024 in 岩国」
 - 岩国市立川下中学校科学部
 - 科学工作クラブ
 - 島づくり推進協議会
 - 安田女子中学高等学校 科学部
 - 山口県立岩国工業高等学校 システム化学科
 - 安芸ホネホネ団
 - NPO法人ほっとにしき
 - 大島商船高等専門学校
 - 長州科楽維新プロジェクト
 - 游ゆう模型クラブ 鉄道部
- ③ 岩国市・和木町科学振興展覧会
 - 和木町教育委員会
 - 岩国市・和木町小学校教育研究会理科部会
 - 岩国市・和木町中学校教育研究会理科部会
- ④ 岩国市発明工夫・科学工作展覧会
 - 岩国市・和木町小学校教育研究会理科部会
 - 岩国市・和木町中学校教育研究会理科部会
 - 株式会社日刊いわくに
- ⑤ 藤岡市助博士記念科学振興表彰
 - 藤岡市助博士顕彰会、株式会社東芝、
 - 岩国市・和木町小学校教育研究会理科部会
 - 岩国市・和木町中学校教育研究会理科部会
- ⑥ その他（後援、共催、協力など）
 - 防衛装備庁
 - 岩国科学をたのしむ会
 - 夏休みジュニア科学教室実行委員会
 - 有限会社らかん高原
 - 公益財団法人岩国市文化芸術振興財団

令和6年度 主要事業の実施状況

「か」 科学への興味を育む環境づくり

(1) 市民・教員・児童生徒を対象とした科学講座の開催

① 児童生徒を対象とした科学教室の開催

ア 科学センターの指導員等による科学教室（16回）

月 日	曜日	時間	講座名	場所	参加人数
5月12日	日	10:00～12:00	赤・青・緑の発光ダイオードを光らせろ！	科学センター	14人
5月26日	日	10:00～12:00		科学センター	16人
6月9日	日	10:00～12:00	光るプランクトン万華鏡を作ろう！	科学センター	16人
6月23日	日	10:00～12:00		科学センター	16人
7月14日	日	10:00～12:00	シャボン玉で遊ぼう！	科学センター	16人
7月28日	日	10:00～12:00		科学センター	16人
10月13日	日	10:00～12:00	金属を溶かしてアクセサリを作ろう	科学センター	16人
10月27日	日	10:00～12:00		科学センター	16人
12月8日	日	10:00～12:00	冬のミクロ生物を観察してサンタみくろんを作ろう！	科学センター	15人
12月22日	日	10:00～12:00		科学センター	16人
1月12日	日	10:00～12:00	電子オルゴールを作ろう	科学センター	16人
1月26日	日	10:00～12:00		科学センター	16人
2月9日	日	10:00～12:00	手のひらスイッチでLEDを光らせよう	科学センター	16人
2月16日	日	10:00～12:00		科学センター	16人
2月22日	土	10:00～11:30	親子工作教室 うぐいす笛を作ろう！	科学センター	23人
3月15日	土	10:00～11:30		科学センター	23人
				合計	267人

イ 他館・企業・学校と連携した科学教室

月日	曜日	時間	講座名	場所	参加人数
5月19日	日	10:30～11:30	天然ガスおもしろ実験with山口合同ガス株式会社	岩国市役所 1 階 多目的ホール	29人
7月7日	日	10:30～12:00	空飛ぶドローンを体験しよう!!with やまぐちドローン操友会	岩国市役所 1 階 多目的ホール	30人
8月1日	木	9:30～10:15 10:30～11:15	ぶくぶく発泡入浴剤を作ろう!with 三井化学ふしぎ探検隊	岩国市民文化会館 第 1 研修室	60人
8月8日	木	12:30～17:00	エネルギーアドベンチャー!発電所 を見に行こう!with中国電力株式会 社	中国電力株式会社 柳井発電所	50人
8月23日	金	9:30～12:00 13:30～16:00	水中ロボットプログラミング教室 with神戸市立工業高等専門学校	岩国海洋環境試験評価 サテライト	12人
8月24日	土	10:00～11:30 13:30～15:00	水中ロボットワークショップ 洋上 風力発電模型with九州職業能力開発 大学校	岩国海洋環境試験評価 サテライト	32人
9月7日	土	10:00～11:00 11:30～12:30 13:00～14:00 14:30～15:30	誰でも簡単!ゲームで楽しくプログ ラミング!!withゼロディブ	岩国市民文化会館 展示室	20人
10月26日	土	13:30～15:00	ホバークラフトに乗ってみよう! with山口県立岩国工業高等学校	岩国工業高等学校 会議室 図書室	20人
12月7日	土	13:30～14:15 14:45～15:30	プラネタリウムで楽しむ星空観察 ～季節の星座を探そう～	岩国市役所 1 階 多目的ホール	58人
12月21日	土	13:30～14:30	植物のふしぎを調べてみよう!葉脈 標本づくり!with山口県立山口博物 館	岩国市科学センター	23人
1月18日	土	13:30～14:30 15:00～16:00	浮いたり沈んだり、回転するおも ちゃ浮沈子を作ろうwith蔵前工業会	岩国市民文化会館 第 1 研修室	57人
2月8日	土	13:30～14:30 15:00～16:00	「いい香り」の秘密。植物の科学を 知って、自分だけのアロマ芳香剤を 作ろう!	岩国市民文化会館 第 1 研修室	57人
				合計	448人

ウ 出前科学教室

開催なし

(2) 優れた児童生徒の科学作品の展示及び表彰

① 科学振興展覧会の開催

月日	曜日	時間	行 事 名	場 所	参加人数
9月19日	木	14:00 ～17:00	令和6年度岩国市・和木町科学振興展覧会審査会	科学センター	22人
9月27日 ～10月4日	金 金	9:00 ～17:00	令和6年度岩国市・和木町科学振興展覧会	科学センター	546人
11月28日	木	16:00 ～17:00	令和6年度岩国市・和木町科学振興展覧会表彰式	市民文化会館	115人

② 発明工夫・科学工作展の開催

月日	曜日	時間	行 事 名	場 所	参加人数
1月17日	金	16:00～	令和6年度岩国市発明工夫・科学工作展覧会審査会	科学センター	4人
1月19日 ～2月5日	日 水	9:00 ～17:00	令和6年度岩国市発明工夫・科学工作展覧会	科学センター	135人
2月6日	木	16:00～	令和6年度岩国市発明工夫・科学工作展覧会表彰式	岩国市役所	6人

③ 優れた作品や研究に対する表彰の実施

月日	曜日	時間	行 事 名	場 所	参加人数
3月25日	火	10:30～	令和6年度藤岡市助博士記念科学振興表彰式	市民文化会館	29人

(3) 岩石・鉱物、昆虫など岩国市にちなんだ標本展示や天体観察の充実

① 動植物の飼育・栽培の奨励

月日	曜日	時間	行 事 名	場 所	寄贈者数	配布人数
7月4日 ～7月5日	木 金	9:00 ～17:00	スズムシの無料配布	科学センター	24人	185人

② 植物・昆虫・岩石・鉱物の同定

月日	曜日	時間	行 事 名	場 所	参加人数
8月4日	日	13:30 ～16:00	同定会	科学センター	昆虫2人 岩石3人

「が」学校では取り組みにくい体験活動の充実

(1) 基本的な道具の使い方を学べる科学教室の開催

① 道具を使った科学教室の実施

「か」(1) ①に同じ

(2) よく聞き、考え、みんなと創造する科学教室の開催

① 創造する科学教室の実施

「か」(1) ①に同じ

② 科学クラブの効果的な運営（9クラブ）

令和6年度科学クラブ員・指導員数

No.	クラブ名	クラブ員 (小学生)	クラブ員 (中学生)	ジュニア 指導員	指導員	合計	対象学年
1	植物	15人			5人	20人	小3～小6
2	昆虫	14人		1人	6人	21人	小4～小6
3	岩石・鉱物	20人		3人	5人	28人	小4～小6
4	天体	15人			6人	21人	小4～小6
5	ミクロの世界たんけん	11人			4人	15人	小4～小6
6	理科実験	20人			6人	26人	小4～小6
7	科学工作	20人			6人	26人	小5～小6
8	身近な化学実験	10人			3人	13人	小6
9	科学実験		6人		4人	10人	中1～中3
	合計	125人	6人	4人	45人	180人	

令和6年度科学クラブ活動実績

No.	クラブ名	開催日	内容	場所	人数
1	植物①	5月18日	今年度の活動概要説明、身近な植物の標本作り	市民文化会館	14人
2	植物②	6月15日	初夏の城山周辺の植物観察と採集	城山 紅葉谷公園	10人
3	植物③	7月6日	珍しい植物の観察、夏の植物の観察	広島市植物公園	11人
4	植物④	10月19日	城山周辺のキノコの観察と採集	城山 サンライフ岩国	8人
5	昆虫①	5月11日	クラブ活動の概要・道具の購入について	科学センター	13人
6	昆虫②	6月1日	採集及び展翅の仕方について	科学センター 長山公園	12人
7	昆虫③	6月15日	徳地青少年自然の家周辺での採集	徳地青少年自然の家	8人
8	昆虫④	6月29日	横山での採集	横山一帯	11人
9	昆虫⑤	7月13日	美和 大根川みがき公園周辺での採集	美和 大根川みがき公園	10人
10	岩石・鉱物①	6月8日	錦川の小石を集めよう(1)	錦帯橋下河原	16人
11	岩石・鉱物②	6月15日	錦川の小石を集めよう(2)	錦帯橋下河原	11人
12	岩石・鉱物③	7月20日	集めた小石を入れる箱を作ろう	科学センター	18人
13	岩石・鉱物④	8月1日	洞窟探検と石灰岩の学習を予定	秋吉台	18人
14	岩石・鉱物⑤	10月26日	花こう岩から砂鉄を取り出そう	科学センター	11人

No.	クラブ名	開催日	内容	場所	人数
15	天体①	5月12日	天体観測の基礎知識、月、春の星座	市役所	13人
16	天体②	8月11日	ペルセウス座流星群、月、夏の星座	市役所	13人
17	天体③	10月19日	紫金山・アトラス彗星、土星、夏・秋の星座	玖珂あいあいセンター	6人
18	天体④	12月7日	月、金星、土星、秋・冬の星座	科学センター	6人
19	天体⑤	2月2日	月、木星、金星、土星 冬の星座	市役所	10人
20	ミクロの世界①	6月15日	潮風公園のミクロ生物を調査しよう	ミクロ生物館	10人
21	ミクロの世界②	7月6日	吉香公園のお堀のミクロ生物を調査しよう	サンライフ岩国 吉香公園	10人
22	ミクロの世界③	8月10日	ミクロ生物古文書を作ろう①(+ミクロなひみつ学習①)	サンライフ岩国 吉香公園	9人
23	ミクロの世界④	8月17日	ミクロ生物古文書を作ろう②(+ミクロなひみつ学習②)	ミクロ生物館	7人
24	ミクロの世界⑤	9月28日	ミクロ生物古文書を作ろう③(+ミクロなひみつ学習③)	ミクロ生物館	8人
25	理科実験①	6月15日	空を飛ぶもの	東中学校理科室	10人
26	理科実験②	6月22日	偏光板万華鏡を作ろう、笛を作ろう	東中学校理科室	13人
27	理科実験③	6月29日	スライム、スーパーボールを作り、高分子やゲル化について学ぶ	東中学校理科室	20人
28	理科実験④	7月6日	エイムズの部屋、ベンハムのコマづくりを通じて、錯視について学ぶ	東中学校理科室	20人
29	理科実験⑤	7月13日	電子レンジでべっこうあめを作ろう	東中学校理科室	18人
30	理科実験⑥	7月20日	ペットボトルで握力計を作る	東中学校理科室	17人
31	科学工作①	5月18日	回転シリーズ工作(回転浮沈子・回転翼グライダーを作ろう)	科学センター	17人
32	科学工作②	6月8日	ほおるもん講座②ゆらゆらカップとクリップモーターを作ろう	科学センター	15人
33	科学工作③	6月22日	ほおるもん工作2 フィルムを使った工作	科学センター	12人
34	科学工作④	7月6日	ガウスの加速器を作ろう	科学センター	17人
35	科学工作⑤	7月20日	はんだ付け工作 金属探知機を作ろう	市民文化会館	17人
36	身近な化学実験①	7月20日	実験する時の注意、植物の色素の分析とそれを使った実験	科学センター	7人
37	身近な化学実験②	7月27日	色々な金属を使った電池作り、水の電気分解と燃料電池実験	科学センター	6人
38	身近な化学実験③	8月3日	毛細管現象の実験、石鹼を作る実験、カビの研究の準備	科学センター	5人
39	身近な化学実験④	8月17日	カビの研究発表と豆腐造りとDNAを取り出し実験	科学センター	3人
40	身近な化学実験⑤	8月24日	ヨウ素液を使った実験	科学センター	7人
41	身近な化学実験⑥	8月31日	デンプンの消化、ルミノール反応の実験	科学センター	7人
42	科学実験①	7月24日	電気の基礎(オームの法則の実証実験)	科学センター	6人
43	科学実験②	7月26日	電磁石の応用(スピーカの製作)	科学センター	6人
44	科学実験③	7月31日	ヒコーク	科学センター	4人
45	科学実験④	8月7日	「科学」について考えよう(公理—定理—法則—ジャム作り)	科学センター	3人
46	科学実験⑤	8月9日	空気と気圧	科学センター	6人
植物クラブ第5回目は悪天候のため中止。				合計	499人

「く」暮らしの中の科学や道具についての学びの推進

(1) 道具を使った科学的な遊びなど科学教材の開発や紹介

- ① 教材・教具等の貸出
学校等へ適時、貸し出しを実施している。
- ② 科学教材・工作の展示
展示室などで、随時展示している。

(2) 暮らしの中に科学を見つける活動の充実

① 青少年のための科学イベントを開催

月日	曜日	時間	行 事 名	場 所	参加人数
11月10日	日	10:30 ～15:00	青少年のための科学の祭典 2024 in 岩国	岩国市民文化会館 岩国市役所	825人

② 特別科学講演会の開催

月日	曜日	時間	行 事 名	場 所	参加人数
3月8日	土	14:00 ～15:15	恐竜くんトークショー 恐竜の不思議教えます！	岩国市民文化会館	454人



③ スズムシの無料配布 「か」(3) ①に同じ

恐竜の不思議教えます!

恐竜くん トークショー

会場 岩国市民文化会館 大ホール

開場 13:30 **終演** 14:00

無料【全席自由席】※整理券必須

トークショー内容

恐竜の意外な疑問から最新の発掘・研究まで、パワースタイルに富んだトピックをクイズに交えながらわかりやすく解説。また、大迫力のイラストや図を多用し、子どもはもちろん大人も楽しめる「恐竜くん」ならではのトークショーを実施します!

同時開催イベント

恐竜くん ワークショップ

～みんなで実験! 気流に乗せて翼竜を飛ばそう～

場所/岩国市民文化会館展示室

10:45～12:00(受付10:30～)

定員人数 50人 (大人数・電話のみ)

料 金 500円(※当日現金払い)

主催/岩国市教育委員会

(公財)岩国市民文化芸術振興財団

tel.0827-24-8996

2025年 3月8日 土

定員1000名

無料配布日 2025年2月4日 0:13:00～配布開始!

主催/岩国市教育委員会

企画制作/ 岩国市教育委員会

お問い合わせ/ 岩国市科学センター

tel.0827-22-0122

(公財)岩国市民文化芸術振興財団

岩国市科学センター

(3) 科学教育研究のための資料の整備及び相談

① 夏休み自由研究相談会

月日	曜日	時間	行 事 名	場 所	参加人数
7月13日	土	9:30 ~12:00	夏休み自由研究相談会	科学センター	11人

② 同定会の開催

「か」(3) ②に同じ

③ 科学センター月報の発行

毎月初めに学校・関係機関へ配布している。

4月 (681号)	「3月に行われた科学教室の様子」「藤岡市助博士記念科学振興表彰式」「天体月報(岩国時更生)」「ミザールとアルコルを見よう」「科学センターから見える夜空」
5月 (682号)	「5月から受付が始まる教室」
6月 (683号)	「先月の行事(5月)科学教室 科学クラブ」「今月募集する行事(6月)科学教室 スズムシ配布」
7月 (684号)	「先月の行事(6月)科学教室 科学クラブ」「今月募集する行事(7月)科学教室 夏休み自由研究相談会 同定会」
8月 (685号)	「先月の行事(7月)科学教室 スズムシの無料配布 夏休み自由研究相談会 科学クラブ」「今月募集する行事(8月)科学教室 令和6年度岩国市・和木町科学振興展覧会 作品募集」
9月 (686号)	「先月の行事(8月)科学教室 科学クラブ 同定会」「今月募集する行事(9月)科学教室」「令和6年度岩国市・和木町科学振興展覧会 展示案内」
10月 (687号)	「先月の行事(9月)科学教室 科学クラブ」「青少年のための科学の祭典2024 in 岩国 開催告知」
11月 (688号)	「先月の行事(10月)科学教室 科学クラブ 令和6年度岩国市・和木町科学振興展覧会施設見学」「今月募集する行事(11月) 科学教室」「青少年のための科学の祭典2024 in 岩国 開催案内」「第78回山口県科学作品展 出品作品の展示案内」
12月 (689号)	「先月の行事(11月) 青少年のための科学の祭典2024 in 岩国 第78回山口県科学作品展出品作品の展示 令和6年度岩国市・和木町科学振興展覧会表彰式」「今月募集する行事(12月) 科学教室 令和6年度 岩国市発明工夫・科学工作展覧会作品募集」
1月 (690号)	「先月の行事(12月)科学教室 科学クラブ」「今月募集する行事(1月)科学教室 親子工作教室」「令和6年度 岩国市発明工夫・科学工作展覧会 展示案内」
2月 (691号)	「先月の行事(1月) 科学教室 令和6年度 岩国市発明工夫・科学工作展覧会」「科学講演会 恐竜くんトークショー開催案内」
3月 (692号)	「先月の行事(2月)令和6年度 岩国市発明工夫・科学工作展覧会 科学教室 親子工作教室 科学クラブ」「科学センターの新しい展示のお知らせ 手回し発電機で電車を動かそう!」

■ 令和6年度岩国市・和木町科学振興展覧会

日程：9月27日（金）～10月4日（金） 場所：科学センター

- ・岩国市と和木町の小中学校児童生徒による自然研究・観察及び標本作品（自然の部）及び科学的な工作作品（創造の部）のうち、学校から推薦された作品を展示する展覧会。

○出展数と入賞数

区分		小学校			中学校			合計		
部門別		自然	創造	合計	自然	創造	合計	自然	創造	合計
出展数		168	66	234	120	16	136	288	82	370
入賞数		66	35	101	16	5	21	82	40	122
内訳	特選	13	8	21	7	2	9	20	10	30
	入選	27	9	36	4	2	6	31	11	42
	佳作	26	18	44	5	1	6	31	19	50
県出品作品		7	8	15	7	2	9	14	10	24

○学校賞

区分	最優秀賞	優秀賞	
小学校の部	岩国市立玖珂小学校	岩国市立岩国小学校	岩国市立平田小学校
		岩国市立川下小学校	
中学校の部	岩国市立川下中学校	岩国市立灘中学校	山口県立高森みどり中学校

○小学校（自然の部：特選）

作品名	学校名	学年	氏名	備考	県展賞
ひまわりいつさくかな？	由宇小	1	田中 孝佳	県出品	
どうやってしおってできるのかな	玖珂小	1	高塚 拓実		
からだのかんかくしらべ	岩国小	2	川口 真優	県出品	
とつぜんあらわれたウーパールーパー？	川下小	2	岸本 こはる		
きのこのかんさつ	平田小	3	長野 孝祐	県出品	
実はグルメで力持ち！？アリのひみつ	東小	3	壹岐 凜	県出品	入選
家にあるものでぎっ草はかれるかな	高森小	3	山本 誠奈		
カナヘビとニホントカゲの飼育パート2	川下小	4	村田 なつみ	県出品	入選
ウニの発生	岩国小	4	東屋 美海		
一番よく聞こえるのはどれ？	和木小	4	村木 陽香		
地震による液状化現象について	玖珂小	5	東 暖真	県出品	
せんぷうきの風を強く、すずしくするには	錦清流小	5	原田 慎司		
すずしい生地で、暑い夏を乗り切ろう	玖珂小	6	小倉 悠太	県出品	

○小学校（創造の部：特選）

作品名	学校名	学年	氏名	備考	県展賞
あこがれのこうしえんきゅうじょう	玖珂小	1	堀 朝陽	県出品	
みんなであそぶルーレットゲーム	川下小	2	浅野 友志	県出品	
夏のおどり	平田小	2	甲斐 優樹奈	県出品	
ピンポン玉回しゅうクワガタ	東小	3	山根 雅翔	県出品	優秀賞 ※
ガウスサーキット	河内小	4	齋藤 朝日	県出品	
ローレンツタイムアタック	河内小	4	齋藤 昴晴	県出品	
トラック&リーゼント☆電動お絵描きロボット	川下小	4	大久保 博貴	県出品	佳作
モーター階段	和木小	4	梶本 英司	県出品	

※「第 83 回全日本学生児童発明くふう展」において、入選受賞作品

○中学校（自然の部：特選）

作品名	学校名	学年	氏名	備考	県展賞
魚の解剖・剥製	通津中	1	藤井 瑛梨	県出品	
モーターのひみつ	川下中	1	貝塚 馳来	県出品	
リモコンの光を邪魔するものは・・・？	灘中	1	的場 梨桜	県出品	
プラスチックについて	由宇中	1	寺岡 知香佳	県出品	
メダカの水槽の秘密パート 2	灘中	2	赤崎 真友子	県出品	佳作
極限に暮らすアリジゴククロコウスバカゲロウ	平田中	2	谷本 理子	県出品	佳作
小動物の本能	和木中	3	松田 吾琉	県出品	佳作

○中学校（創造の部：特選）

作品名	学校名	学年	氏名	備考	県展賞
リハビリしながら会話しよう	川下中	1	坂本 将真	県出品	入選
ノンフリクションボード	高森 みどり中	2	増山 宗哉	県出品	

■令和6年度岩国市発明工夫・科学工作展覧会

日程：1月19日（日）～2月5日（水） 場所：科学センター

・冬休みや年間を通じて創作した科学知識に基づく工作作品の展覧会。

出展数10点（小学校9点、中学校1点）

作品名	学校名	学年	氏名	備考
じしゃくをつかったおもちゃ	岩国小	2	富永 健太	最優秀賞
まほうじんをかんせいさせて明るくともそう！	麻里布小	3	篠原 帆乃華	優秀賞

■令和6年度藤岡市助博士記念科学振興表彰

岩国市・岩国市教育委員会、並びに藤岡市助博士顕彰会の共催で、岩国市出身の藤岡市助工学博士の功績を記念するとともに、本市の児童・生徒の科学への興味関心を高めるため、優れた科学研究、科学作品製作者に「藤岡市助博士記念科学振興表彰」として以下のとおり各賞を授与しました。

○日時：3月25日（火）10：30～

○場所：岩国市民文化会館 第一研修室

【藤岡市助博士記念特別賞】

氏 名	学校名	学年	作品名
山根 雅翔	東小	3	ピンポン玉回しゅうクワガタ 簡単に飛ばせる紙ひこう機

【市長賞】

氏 名	学校名	学年	作品名
富永 健太	岩国小	2	じしゃくをつかったおもちゃ
壺岐 凜	東小	3	実はグルメで力持ち！？アリのひみつ
村田 なつみ	川下小	4	カナヘビとニホントカゲの飼育パート2
坂本 将真	川下中	1	リハビリしながら会話しよう

【教育長賞】

氏 名	学校名	学年	作品名
大久保 博貴	川下小	4	トラック&リーゼント☆電動お絵描き ロボット
赤崎 真友子	灘中	2	メダカの水槽の秘密パート2
谷本 理子	平田中	2	極限に暮らすアリジゴククロコウスバ カゲロウ

【藤岡市助博士顕彰会長賞】

氏 名	学校名	学年	作品名
堀 朝陽	玖珂小	1	あこがれのこうしえんきゅうじょう
東 暖真	玖珂小	5	地震による液状化現象について
小倉 悠太	玖珂小	6	すずしい生地で、暑い夏を乗り切ろう

■ 令和 6 年度科学クラブ活動報告書（抜粋）

指導員 参加人数	4	クラブ員 参加人数	11
-------------	---	--------------	----

※科学センター記入欄

科学クラブ活動報告書

クラブ名	植物クラブ			記入者	内田祐介
活動日	令和 6 年 7 月 6 日（土）	天候	晴れ	活動場所	広島市植物公園内
タイトル	珍しい植物の観察、夏の植物の観察				
内容詳細	9 時 3 0 分～ 岩国市役所に集合し、バスにて広島市植物公園へ向かう。 1 0 時 3 0 分～1 2 時 今回の活動内容と注意事項を説明し、園内植物の解説をしながら観賞して周る。 （大温室）オーストラリアバオバブ、ガジュマル、コチョウラン、食虫植物 など （ペゴニア温室）球根性ペゴニア、根茎性ペゴニア、木立性ペゴニア など （フクシア温室）フクシア類、ラン類（クールオーキッド）など （サボテン温室）アガベ、サボテン類、多肉植物類 など 1 2 時～1 2 時 4 0 分 昼食及び自由散策 1 2 時 4 0 分～1 3 時 3 0 分 カエデ園に移動し、きのこ観察会 1 3 時 3 0 分～ 広島市植物公園を出発 1 4 時 3 0 分 岩国市役所に到着し、解散。				
気づき など	気温 3 5℃にも迫る危険な暑さであったため、小まめに水分補給のための休憩を取った。ペゴニア温室やフクシア温室は冷温室であり、ここでやや長めに活動時間を取った。園内は緑陰も多く、ほぼ日陰、半日陰で無理なく活動を行えたこともよかったと思う。きのこ観察会ではキタマゴタケなど珍しい種類も観察できた。子供たちも概ね最後まで熱心に植物を観察し、質問などもたくさんあり、嬉しい忙しさであった。酷暑での活動ということで、フィールドの選定はとてもよかったと思う。				

※報償費支払いの基礎資料となります。実施後はすみやかに御提出ください。

指導員 参加人数	6	クラブ員 参加人数	8
-------------	---	--------------	---

※科学センター記入欄

科学クラブ活動報告書

クラブ名	昆虫 クラブ	記入者	山本 哲彦
活動日	2024年6月15日	天候	晴
活動場所	徳地青少年自然の家		
タイトル	徳地青少年自然の家 周辺での採集		
内容詳細	高地に生息する虫蝶類の採集を目的に毎年計画している。梅雨の時期にあたり、毎年天候が心配されるが、今年は梅雨入りが遅れ、天候の心配なく実施することができた。8時に岩国市役所に集合し、市のバスで徳地に向かって出発した。到着後、採集上の注意を行い、採集を開始した。この日の目的であるミドリシジミ類やウラナミアカシジミは、木の高い所に生息しており指導員が長い捕虫網で枝をたたき捕獲を試みたがミドリシジミはその姿が見られなかった。ウラナミアカシジミも2頭を捕まえたにとどまった。この日はルリタテハを多く見かけた。 この日の採集物は、ルリタテハ・ミドリヒョウモン・アカタテハ・ヒメアカタテハ・コムスジ・テングチョウ・ヒオドシチョウ・ナガサキアゲハ・クロアゲハ・ベニシジミ・ミズイロオナガシジミ・ウラナミアカシジミ・ヤマトシジミ・サトキマダラヒカゲ・クロヒカゲ・ヤマサナエ・スジクワガタ・ハラアカゴバミキリ・キマダラカミキリ・ラミーカミキリ・マメコガネ・ツチイナゴ		
気づきなど			

※報償費支払いの基礎資料となります。実施後はすみやかに御提出ください。

科学クラブ活動報告書

岩石・鉱物

ク ラ ブ

実施日	R 6年 8月 1日 木曜日	活動場所	秋吉台
参加者数	18人 ※クラブ員のみ集計	天候	晴れ
記入者	秋友高弘		
指導員名	秋友高弘、清田和幸、館 英孝、村重 忠		
実施内容			
1 景清洞(洞窟探検)および秋吉台科学博物館(化石採集等)			
岩国市のバスに乗り、午前中は景清洞での洞窟探検、午後から秋吉台自然科学館に行き第4回目の岩石・鉱物クラブを実施した。			
(1)行程			
市役所東玄関集合(7時50分)→8時出発→玖珂IC→下松SA→美祢東IC→ →景清洞駐車場(10時30分着)→洞窟探検→昼食(12時30分発)→秋吉台科学博物館→ →出発(14時30分)→美祢東IC→下松SA→玖珂IC→市役所(16時00分着)			
(2)活動内容			
・景清洞(洞窟探検)(10時30分～12時)			
ヘルメット、懐中電灯、長靴を借りた後、景清洞の職員の案内で洞内に入る。 途中までは、照明があり道は舗装されているが、さらに進み探検コースに入ると、照明もなく舗装もされていなかった。洞内は水が流れており、長靴に冷たい水が入った。 石灰岩の様子を観察したり、天井や壁の様子を観察したりした。			
・秋吉台科学博物館(13時～14時30分)			
館内で秋吉台の成り立ちや自然の様子についてのビデオを視聴。 その後、野外でハンマーで石灰岩を適当な大きさに割り、薄い塩酸で表面を溶かし、化石を確認した。腕足類の化石が多くみられた。一人2個持ち帰る。 最後に館内の展示物を観察した。			
気づきなどを記入してください。			
7家族が自家用車で参加し、保護者も含めて37人が洞窟体験に参加した。 秋吉台科学博物館では、ご厚意で保護者も化石採集をさせていただいた。 クラブ員、保護者にとって、楽しく充実した活動になったようです。			

※科学センター集録の原稿として使用しますので、詳しく書いてください。

※報償費支払いの基礎となります。指導者名は必ず記入し、記入者は記載内容に訂正箇所があるときは、二重線で訂正し訂正印を押してください。実施後は早急に提出してください。

指導員	5	クラブ員	6
参加人数		参加人数	

※科学センター記入欄

科学クラブ活動報告書

クラブ名	天体		クラブ	記入者	木村 泰子
活動日	2024.12.7	天候	曇り	活動場所	科学センター2階, 外
タイトル	月・金星・土星・秋冬の星座				
内容詳細 (資料有り)	今日の星座 ・頭西上にベガスの四辺形 ・南西の空に土星 ・冬の星座の中で明月と輝く木星 ・東の低い空で来月接近ある火星 (資料参照) 金星：地球と比べてどんな星？ 土星：土星の輪の見え方の今後、土星と月が接近する。 木星：公転の仕方、木星の衛星たち 秋の星座 すばる(プレアデス星団 M45) 清く納言の記述 アンドロメダ銀河(M31) [2025年注目の天文現象] 1/4 しし座流星群極大 , 1/12 火星が接近 3月5月11月土星の環の消失 , 8/12 金星と木星が大接近 6/17 火星とシグリスが接近 , 4/25.26 金星・土星・水星・月が集合 9/8 皆既月食 , 12/14 ふたご座流星群極大				
気づきなど	雲がかかったりして、なかなか外での観察が難しかった。月等を観測することができた。 土星の輪が、来年は見えないとあるので今年度のうちに見ることをできるとよいと思う。				

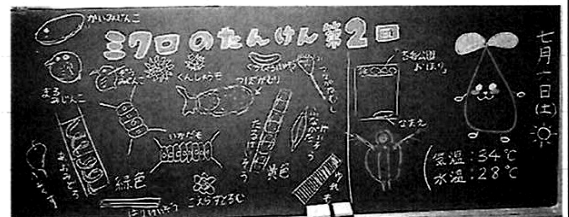
※報償費支払いの基礎資料となります。実施後はすみやかに御提出ください。

指導員 参加人数	4	クラブ員 参加人数	10
-------------	---	--------------	----

※科学センター記入欄

科学クラブ活動報告書

クラブ名	ミクロの世界たんけん		クラブ	記入者	末友靖隆
活動日	令和6年7月6日	天候	晴れ	活動場所	サンライフ岩国、吉香公園
タイトル	吉香公園のお堀のミクロ生物を調査しよう				
内容詳細	1)吉香公園のミクロ生物採集 ・諸注意(安全管理・熱中症対策を重点的に) ・サンライフ岩国前 お堀での淡水産ミクロ生物採集 (プランクトン濃縮セット・プランクトンネット) 2)ミクロ生物の観察・記録 ・ミクロ生物の顕微鏡観察・スケッチ 3)ミクロ生物に関する学習 ・観察できたミクロ生物の体や生態に関する豆知識 ・海産ミクロ生物との違いについて				
気づきなど	・クラブ員間のグループ内での役割分担、協力等、1回目以上によくできていた。 ・不参加クラブ員の次回活動に役立てるべく、ミクロ生物の動画・静止画記録を積極的に実施した。 今回の講座用に購入した消耗品(品名、金額) なし 出席指導員: 守川明夫、森原彩貴、久保田早重、村中日向子 欠席クラブ員: 御書 悠聖(小6) 10人出席				



※報償費支払いの基礎資料となります。実施後はすみやかに御提出ください。

科学クラブ活動報告書

理科実験 クラブ

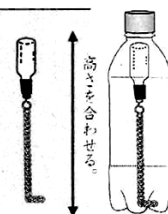
実施日	令和6年7月20日 土曜日	場所	岩国市立東小中学校
参加者数	17名	天候	晴れ
記入者	手嶋 静		
指導者名	手嶋静 石本直邦 土井健 辰岡信彦		
実施内容			
ペットボトルで握力計を作る。 アルキメデスの原理 流体中の物体は、その体積と等しい体積の流体の重さに等しい浮力をうける。 パスカルの原理 密閉された流体中ではすべての場所の圧力は等しい ボイルの法則 気体はの体積と圧力は反比例する。 ※原理と法則の使い分け			
① PETボトルで浮沈子をつくる。 タレbinの首に鉛板を巻き付けて、タレbin内の空気量を調整してギリギリ浮くようにして、それを満水のPETボトルに入れて、キャップをする。 それを握って、浮沈子が沈むこと。鉛板の大きさが異なる場合と比較して、上記の3つの原理・法則を体験する。			
② 浮沈子を途中で止めることができない理由を考える。			
③ タレbinのキャップにヒートンと鎖をつけて、水中で適当な高さになるように空気量を調整して、それを①と同様にPETボトルに入れる。 握った力により沈む深さが変化して圧力計になることを確認する。 鉛の大きさを変えると？ 家に帰っていろいろと試そう。			
気づきなどを記入してください。			



キリで穴をあけ



ひねって口を広げて



高さを合わせる。

※科学センター集録の原稿として使用しますので、詳しく書いてください。

※報償費支払いの基礎となります。指導者名は必ず記入し、記入者は記載内容に訂正箇所があるときは、二重線で訂正し訂正印を押してください。実施後は早急に提出してください。

指導員 参加人数	5	クラブ員 参加人数	12
-------------	---	--------------	----

※科学センター記入欄

科学クラブ活動報告書

クラブ名	科学エイク	クラブ		記入者	加藤 竜司
活動日	令和6年6月22日	天候	曇	活動場所	科学センター2階講義室
タイトル	フィルムケースを使ったエイク				
内容詳細	○地球ゴマを作ろう。 ・フィルムケースについての説明 ・地球ゴマについての説明 ・地球ゴマの作成 黒いフィルムケース2つを合わせて地球は赤い球をライトブルーのビニールテープをはる。 白いシールを地球、月、陸、海、星としてフィルムケースにはる フィルムケースを指ではたき、回転運動により月の動きや地球の自転が再現できる。 ○フィルムケースコカリナを作ろう ・コカリナの穴もフィルムケースに型を使って作る。 ・大、中、小の穴と異なる金属をコンパで熱し、コカリナの穴の部分をとけていく。 ・紙コップを使い、穴の部分をつくり、両面テープでストローをつける。 ・音が鳴るよう微調整をしながら音を響かせる。 ○のぼり人形 ・糸を交互に引くことでフィルムケースが登っていくのぼり人形を作成した。				
気づきなど	・作ったエイクを見た後、フィルムケースが回転運動で月の動きや地球の自転が再現される様子や、コカリナの音が出ることを喜ばれ、クラブ員が主体的に活動していた。 ・さかきやけどの危ない作業をしたが、安全についてよく説明をきき、大まかにしかクラブ員はカッターやハサミなどの道具の使い方を覚えていないので経験を積むことができたと思う。				

※報償費支払いの基礎資料となります。実施後はすみやかに御提出ください。

指導員	3	クラブ員	7
参加人数		参加人数	

※科学センター記入欄

科学クラブ活動報告書

クラブ名	身近な化学実験 クラブ			記入者	進藤 哲也
活動日	2024 年 8 月 24 日	天候	晴	活動場所	科学センター講座室
タイトル	テーマ:ヨウ素液を使った実験 1. ヨウ素液でデンプンを見つけよう。 2. ヨウ素液でビタミン C を見つけよう				
内容詳細	①ヨウ素液でデンプンを見つけよう。 ★ヨウ素液:ポビドンヨードを希釈し代用した。 サンプル:パン粉、片栗粉、レモン汁、きな粉、重曹、クエン酸 【実験】サンプルにヨウ素液を添加する。 【結果】パン粉、片栗粉にヨウ素液を滴加すると青紫色に変わりデンプンが含まれていることが分かった。レモン汁にヨウ素液を滴加するとヨウ素液の色が無色になった。追加で文具用のりにヨウ素液滴加したところ、変化はなかった。(デンプン無し) 【講義】上記の個々の結果について原料とそのヨウ素反応との関係を説明。 ②ヨウ素液でビタミン C を見つけよう サンプル:レモン、キウイ(ゴールド、グリーン) 【実験】ポビドンヨード1滴に対し、レモン汁、キウイ汁を何滴加えたら色が消えるか、確認した。 【結果】レモン 7 滴程度、キウイ 6 滴程度 →レモンの方が少ない滴数でヨウ素の色が消えた。必ずしも再現性は高くない。 【講義】ビタミン C はキウイの方が多結果となった。(逆の結果もあり明確ではなかった)。一般的にはキウイの方が多量なこと、レモンの酸味の主成分がクエン酸であることを説明。 ③クエン酸、重曹へのヨウ素液の添加(追加実験) 反応せず。それぞれの溶液を混ぜることで発砲することを体験。気体の説明。				
気づきなど	・人数が少ないので事前準備も比較的余裕があり、臨機応変に実験手順を修正できた。 ・ビタミン C の実験について、ブラコップを使用したが、攪拌効率と滴加終点を正しく見極めるためには試験管を使用すべきであった。(次回への注意事項)				

※報償費支払いの基礎資料となります。実施後はすみやかに御提出ください。

指導員	4	クラブ員	6
参加人数		参加人数	

※科学センター記入欄

科学クラブ活動報告書

クラブ名	科学実験	クラブ		記入者	藤本まゆみ
活動日	8月9日	天候	晴れ	活動場所	講堂
タイトル	空気と気圧				
内容詳細	空気の粒の動きもイメージしながら気圧をとらえていこうという内容である。(1部) 空気の粒が見えたら(2部) 空気の粒と気圧を行く。3部は時間がよくなってきた。 1部は、真空ポンプを用いて空気を抜いていくと、ペットボトルやアキバはどうなるか。容器の中の風船やお菓子の袋、ふたのある容器、水の入った容器の水面上はどうなるか。1つ1つ予想し、理由を考へて、実験で確かめていく。2部は吸盤による、外から押す力と中の空気の押す力の差が気圧の差とわかっていく話から、天気(低気圧、高気圧、台風)の話につなげる。気圧が小さくなるとう海面が上昇するといふ実験を見る。				
(参考)	目に見えない空気も、粒を入れた袋を動かして音や手触りでイメージできたり、真空ポンプを使った実験を自分で行い、目に見えるように考えられる問題(図2)がとれている。				
気づきなど	風船に発言で実験(2部)という実験作りにも努めた。子供たちが1つ1つの問題を予想し実験で確かめ、自分の中に仮説ができて、それを言葉に出して言っていたと感じた。 <u>子供の感想</u> ・新しい発見があった。 ・空気と気圧のつながり、色々な面白かった。 ・実験がわかりやすく理解しやすかった。 ・気圧について(2部)、楽しく実験でき興味をもった。				

※報償費支払いの基礎資料となります。実施後はすみやかに御提出ください。

・天気の予習したのでうれしかった。

歴代館長名簿（旧岩国市から通算）

初代館長	河 本 新太郎	昭和35年1月1日	～	昭和37年3月31日
2代館長	佐 伯 武 夫	昭和37年4月1日	～	昭和42年3月31日
3代館長	梅 本 直 一	昭和42年4月1日	～	昭和42年5月24日
4代館長	岩 崎 利 夫	昭和43年9月1日	～	昭和46年3月31日
5代館長	中 川 茂 美	昭和46年4月1日	～	昭和48年5月31日
6代館長	歓 喜 治 朗	昭和48年6月1日	～	昭和49年3月31日
7代館長	高 林 一 郎	昭和49年4月1日	～	昭和50年3月31日
8代館長	横 山 清 一	昭和50年4月1日	～	昭和51年3月31日
9代館長	徳 本 八 郎	昭和51年4月1日	～	昭和52年3月31日
10代館長	玉 井 昭 男	昭和52年4月1日	～	昭和54年3月31日
11代館長	弘 中 毅	昭和54年4月1日	～	昭和56年3月31日
12代館長	岩 崎 利 夫	昭和56年4月1日	～	昭和57年3月31日
13代館長	杉 山 丁 治	昭和57年4月1日	～	昭和58年3月31日
14代館長	清 弘 雄 正	昭和58年4月1日	～	昭和59年3月31日
15代館長	長 和 信 夫	昭和59年4月1日	～	昭和61年3月31日
16代館長	原 田 明	昭和61年4月1日	～	昭和62年3月31日
17代館長	長 光 史 記	昭和62年4月1日	～	平成元年3月31日
18代館長	岸 本 道 雄	平成元年4月1日	～	平成2年3月31日
19代館長	栗 栖 琢 也	平成2年10月1日	～	平成4年3月31日
20代館長	中 原 一 雄	平成4年4月1日	～	平成5年3月31日
21代館長	岸 村 進	平成5年4月1日	～	平成10年3月31日
22代館長	尾 崎 輝 雄	平成10年4月1日	～	平成11年3月31日
23代館長	津 山 直 人	平成11年4月1日	～	平成12年3月31日
24代館長	田 屋 尚 文	平成12年4月1日	～	平成14年3月31日
25代館長	市 山 忠 行	平成14年4月1日	～	平成16年3月31日
26代館長	石 本 直 邦	平成16年4月1日	～	平成22年3月31日
27代館長	広 津 毅	平成22年4月1日	～	平成24年3月31日
28代館長	川 戸 裕 司	平成24年4月1日	～	平成25年3月31日
29代館長	末 弘 隆 司	平成25年4月1日	～	平成26年3月31日
30代館長	小 田 修 司	平成26年4月1日	～	平成26年9月30日
31代館長	吉 村 比呂志	平成26年10月1日	～	平成27年3月31日
32代館長	浜 川 智 也	平成27年4月1日	～	平成29年3月31日
33代館長	森 本 敦 彦	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日
34代館長	林 孝 造	平成31年4月1日	～	令和3年3月31日
35代館長	中 村 洋 一	令和3年4月1日	～	令和4年3月31日
36代館長	弘 中 勝	令和4年4月1日	～	令和5年11月30日
37代館長	丸 川 浩	令和5年12月1日	～	令和6年3月31日
38代館長	大 黒 屋 誠	令和6年4月1日	～	

科学センター年報 第 67 集

令和 7 年 6 月 日発行

岩国市科学センター

住所 岩国市麻里布町六丁目 14 番 25 号

TEL (0827) 22-0122

FAX (0827) 22-3922

e-mail iwkagaku@city.iwakuni.lg.jp

表紙の写真

「岩国市・和木町科学振興展覧会表彰式」

令和 6 年 11 月 28 日